

# 太陽のめぐみ

やわらかな早春の  
太陽が山を照らし  
野に輝き海にきらめく  
この温もりが大地に眠る  
花々に息吹をあたえ  
木々の葉を繁らせ  
もろ人の心にやすらぎを  
感じさせてくれる  
耳をすませば聴えてくる  
賑やかな春の足音  
この大自然の中に生かされ  
万物の靈長として誇る  
人間の心の中になぜ  
差別が芽吹くのであろう

瞳をあげて果しない青空を  
仰いで欲しい  
人を差別する愚かな  
心に気づいて欲しい  
それは人間だから

江口いと 作

【江口いとさん プロフィール】

1912年、漁村の被差別部落に生まれ、20歳で結婚。戦争で夫を失い、二人の子どもを育て、息子や孫への3代にわたる差別を経験した。

自分の余生を部落差別の解消のために尽くしたいと念じ、各地の講演会では、自分や自分のまわりに起こった差別についてその忌まわしさと怒りを話すとともに、詩歌集「荊を越えて」、江口いと人権の詩「人の値打ち」を出版するなど、2009年、96歳でその生涯を終えるまで精力的に活動し続けた。



読み終わってどう感じましたか。

この資料では部落差別をはじめあらゆる差別から起こる問題を取り上げています。しかし、ここにあるものがすべてではありません。「本人に責任のないこと」や「本人の努力では変えようのないこと」により、辛い思いをしている人はいないか、わたしたちの周りを見つめ直してみませんか。「あれっ？」と感じた時には、いつでもこの冊子を見直してください。

大分市教育委員会 教育部 人権・同和教育課  
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

発行：大分市教育委員会 発行年月日：2020(令和2)年3月31日